

平成29年度進捗評価シート
長野市歴史的風致維持向上計画（平成25年4月11日認定）
（最終変更平成29年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1	歴史的風致の維持及び向上に向けた連携 並びに推進体制	1
---	-------------------------------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1	長野市景観計画との連携	2
2	長野市屋外広告物条例との連携	3
3	長野市伝統環境保存条例との連携	4
4	長野市伝統的建造物群保存地区 保存条例との連携	5

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1	無形文化財支援事業	6
2	歴史的資源活用コーディネーター 派遣事業	7
3	伝統芸能継承事業	8
4	空き家バンク事業	9
5	善光寺周辺地域道路美装化事業	10
6	善光寺周辺地域電線類地中化事業	11
7	善光寺経蔵保存修理事業	12
8	善光寺表参道地域交流拠点整備事業	13
9	戸隠地域建造物修理修景助成事業	14
10	景観重要建造物修理助成事業 (戸隠地域)	15
11	弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業	16
12	戸隠茅場整備事業	17
13	戸隠伝統的建造物群保存地区防災計画 策定調査事業	18
14	戸隠地域耐震性貯水槽整備事業	19
15	松代地域道路美装化事業	20
16	伝統環境保存事業	21
17	旧横田家住宅保存整備事業	22
18	旧文武学校保存整備事業	23
19	松代町文化財保存活用推進事業	24
20	旧松代駅舎保存活用事業	25
21	松代城東側駐車場整備事業	26
22	北国街道松代道 周辺文化財等周遊道路整備事業	27
23	史跡大室古墳群保存整備事業	28
24	旧信濃川田駅保存活用事業	29
25	松代歴史文化の発信・誘客事業	30
26	県宝大英寺本堂保存修理事業	31

27	川田宿PR活用事業	32
28	史跡松代城跡保存整備事業	33
29	県宝長国寺開山堂保存修理事業	34
30	県宝林正寺本堂保存修理事業	35
31	大室古墳群アクセス道路整備事業	36
32	「彫工北村喜代松」制作の 屋台等保存・公開活用事業	37
33	鬼無里地域の伝統的祭礼等PR事業	38
34	松巖寺経蔵保存修理事業	39
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)			
1	文化財の保存(文化財調査・指定、保存 管理(活用)計画等)について	40
2	文化財の保存整備(修理、修景、復元等) について	41
3	文化財の防災に関する取り組みについて	42
4	文化財の周辺環境の整備について	43
5	文化財の保存及び活用の普及、啓発 について	44
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)			
1	次代の城山公園の在り方は ほか	45
⑥その他(効果等)(様式1-6)			
1	善光寺仁王門前の歩行者通行量の増加	47
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)		 48

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	

歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

①地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第11条に基づき、有識者等で構成される「長野市歴史的風致維持向上協議会」を、計画策定後も引き続き設置し、本計画の推進・変更に関して、様々な提案・意見等を得ることとする。
②歴史的風致の維持及び向上を目的とした庁内全体の連携体制を構築するために、関係各課の担当者によって構成される「歴史まちづくり推進会議」を適宜開催し、情報共有や問題点の抽出等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

①「長野市歴史的風致維持向上協議会」を2回開催し、計画事業の進行管理・評価及び計画変更案などについて協議し、計画内容、実施内容に対して幅広く意見をいただいた。
②計画事業の関係部局を対象に「歴史まちづくり推進会議」を2回開催した。会議において各事業の進捗状況の確認及び事業実施に向けて解消すべき課題を共有し、庁内全体の連携体制を強化することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- ①長野市歴史的風致維持向上協議会の開催
- 第1回 平成29年8月2日(水)
議題 (1) 平成29年度の計画事業について
(2) 計画の進行管理・評価の実施について
- 第2回 平成30年2月9日(金)
議題 (1) 計画の進行管理・進捗評価について
(2) 計画の変更について
(3) その他



第1回 長野市歴史的風致維持向上協議会(H29.8.2)

- ①歴史まちづくり推進会議(庁内会議)の開催
- 第1回 平成29年7月11日(火)
議題 (1) 計画の概要について
(2) 計画の課題について
(3) 今年度の事業計画について
- 第2回 平成30年1月23日(火)
議題 (1) 計画の進行管理・進捗評価について
(2) 計画の変更について
(3) その他



第1回 歴史まちづくり推進会議(庁内会議)(H29.7.11)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
長野市景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

<重点区域>
 ○善光寺周辺
 重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上のために、景観計画と連携しながら、景観計画上の重点地区に設定するなど、地域の特性に応じたよりきめの細かい景観の誘導を検討していく。
 ○戸隠
 本計画において、戸隠五社や中社・宝光社の宿坊を中心とした独特の集落を含む一帯が重点区域に設定されたことから、今後は、この重点区域内を対象に、より詳細な景観の誘導を行うための検討を行っていく。
 ○松代
 重点区域内の特徴的なまちなみを活かすためにも、地域の特性に応じた景観形成基準の設定等を検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画担当部局との連携協議を2回実施し、長野市景観計画の改訂に併せて景観計画に歴まち計画について記載される見込みとなった。
 また、平成19年に策定した「長野市景観計画」に基づき、対象となる規模の新築・増築・改築等について届出義務を課し、高さや彩色等について誘導している。
 重点区域内における景観計画に基づく行為の届出件数 平成29年度実績:なし

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

景観計画担当部局と連携協議を実施
 第1回 平成29年9月14日(火)
 協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について
 (2) 長野市景観計画について
 第2回 平成30年2月5日(月)
 協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について
 (2) 長野市景観計画の改訂について



景観計画担当部局と連携協議
第1回(H29.9.14)

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
長野市屋外広告物条例との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

〈重点区域〉
 ○善光寺周辺
 長野市屋外広告物条例では、歴史的な景観を有する地区等で、よりきめ細やかな景観の規制誘導を図るために、特別地区制度を設けている。今後、重点区域内においては、景観計画と連携しながら、よりきめの細かい地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。

○戸隠
 広範囲にわたって妙高戸隠連山国立公園戸隠地域戸隠管理計画区に指定され、屋外広告物の掲出についても一定の規制が設けられているが、宝光社地区の一部には、国立公園による規制と屋外広告物条例による規制のどちらにもかかっていない部分があり、善光寺門前の規制とともに、よりきめの細かい規制地区の導入について検討していく。

○松代
 重点区域内については、善光寺周辺と同様に、景観計画と連携しながら、特別規制地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

屋外広告物担当部局との連携協議を2回実施し、歴まち計画と良好な景観形成に関する施策との連携における課題と方針、各地区での取り組み等を共有した。
 また、平成18年改正施行の「長野市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物を設置する際に、設置地区の規制区分及び屋外広告物の表示面積に応じて届出義務を課し、誘導している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

屋外広告物担当部局と連携協議を実施

第1回 平成29年9月14日(火)

- 協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について
 (2) 戸隠地区における関連計画について

第2回 平成30年2月5日(月)

- 協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について
 (2) 戸隠地区における取り組みについて



屋外広告物担当部局と連携協議
 第1回(H29.9.14)

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
長野市伝統環境保存条例との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 松代城下町の歴史的かつ文化的な遺産としての伝統環境を保存し、次世代の市民に継承することを目的として、昭和58年(1983)3月に「長野市伝統環境保存条例」が制定されている。条例では、松代町四町(表柴町、代官町、馬場町、竹山町)を伝統環境保存区域として指定し、区域内の保存に関する保存計画を策定している。保存区域内で建築物(主屋、土蔵、門、塀など)、庭園その他の工作物の新築、増改築などを行う場合に、市へ届け出ることが必要であり、これにより、城下町の良好な景観形成を図っている。伝統環境保存区域の全域が本計画の重点区域内に含まれることから、引き続き条例に基づいて伝統環境の保存に努めていくとともに、都市計画や景観計画と連携しながら、周囲に広がる歴史的景観との調和についても検討し、さらなる歴史的風致の維持向上を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

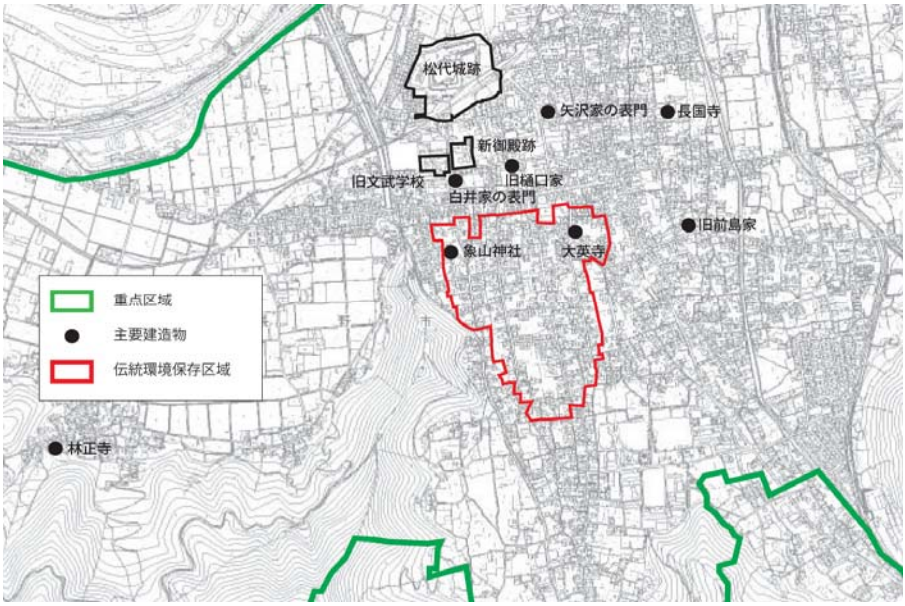
届出への審査指導や伝統環境の保全に寄与する建築物・工作物等保全へ補助することで、城下町の良好な景観形成と保全が図られた。
 ○平成29年度実績
 届出件数:5件(新築2件、伐採1件、宅地造成1件、庭園1件)
 補助件数:3件(泉水路2件、庭園1件)(評価軸③-16)
 補助制度を活用して歴史的まちなみに寄与する建物等を保全維持している所有者は、地元団体の松代地区中心市街地活性化協議会の「街なみ景観賞」として表彰されるなど、まちなみ保存に対する地域住民の意識向上にもつながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

伝統環境保存区域:約29ha



評価軸②-4
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
長野市伝統的建造物群保存地区保存条例との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 長野市内の伝統的建造物群及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存するため、平成28年4月に「長野市伝統的建造物群保存地区保存条例」を制定した。
 さらに、平成28年8月には条例に基づき、戸隠中社・宝光社地区の一部を長野市戸隠伝統的建造物群保存地区に決定し、同保存地区の保存に関する計画(保存計画)を策定した。保存計画では、伝統的建造物である宿坊や農家の主屋等の建築物や石垣等の工作物と共に、生垣や庭園、水路等を環境物件として特定し、保存のために行う措置を具体的に示している。
 保存地区内で建造物の新築や増改築など、現状変更を行う場合には、事前に教育委員会の許可が必要であり、これにより、戸隠神社門前の良好な景観形成、歴史的風致の維持向上を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

現状変更に対して事前に内容を確認し、必要に応じて協議を行うことで、戸隠神社門前の良好な景観形成が図られた。また、保存地区内における建造物を保存するため、所有者が行う修理費に対し補助することで、保存地区内の良好な景観形成が図られた。
 ○平成29年度実績
 許可申請件数:28件(平成30年1月19日現在)
 補助件数:3件(建築物3件)(評価軸③-9)

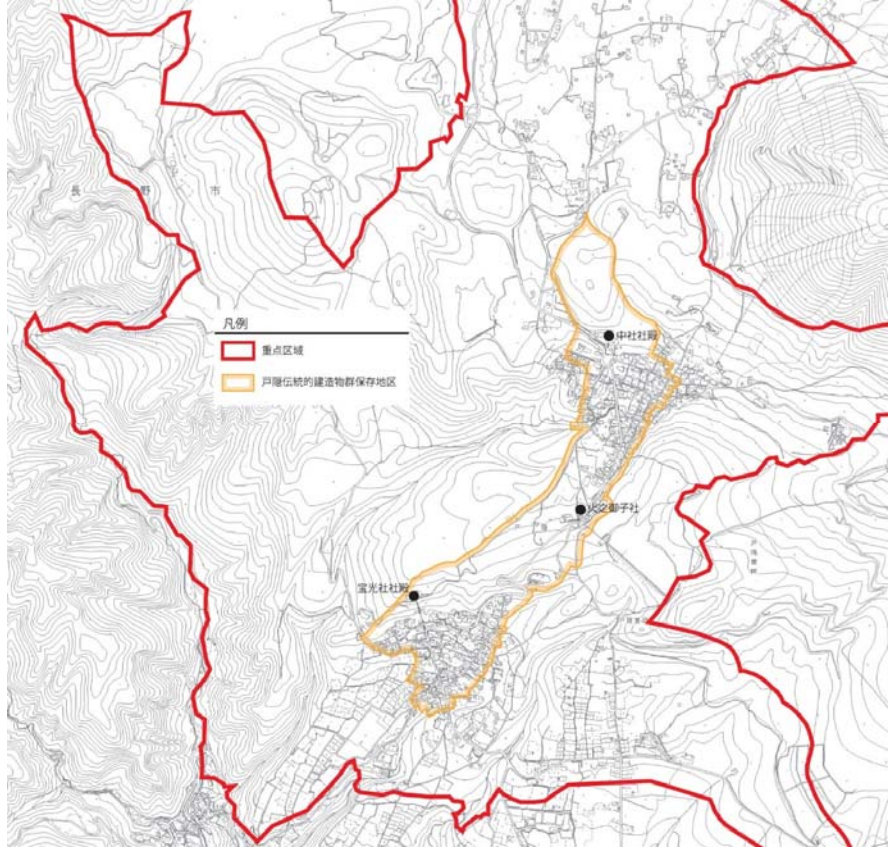
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

戸隠伝統的建造物群保存地区:約73.3ha



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
無形文化財支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 無形文化財あるいは無形民俗文化財の指定等を受けている伝統的な祭礼を保存・継承するためには、無形文化財の保持者または保持団体が、地域の若者・子ども達などに伝統的な祭礼に触れる場を積極的に提供する必要があるため、文化財の記録作成、伝承者養成、その他保存・公開に必要な経費について、支援事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財伝承者の養成、若者・子ども達などに伝統的な祭礼に触れる場の積極的な提供、公開活動に対する支援等を行うため、無形文化財及び無形民俗文化財の保持者または保持団体に対し、活動経費の一部を助成した。
○平成29年度実績:無形文化財補助金 3件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

善光寺・戸隠地区

- ① 宣澄(せんちょう)踊り保存会 宣澄踊り奉納を実施した。



踊り奉納の様子

松代・若穂川田地区

- ① 箏曲(そうきょく)八橋流保存会 地元小学生を対象とする育成活動が行われ、保存継承を図ることが出来た。



松代文化ホールでの演奏会の様子

- ② 大門踊(おおもんおどり)保存会 地元小学生を対象とする育成活動(年4回)、一般公開(年10回)を実施した。



松代城跡における踊り披露の様子

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
歴史的資源活用コーディネーター派遣事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 住民主体のまちづくりを支援するため、歴史的町並みを活かした良好な町並み形成を目指す住民組織等に対して、外部の専門家や有識者を派遣する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・戸隠伝統的建造物群保存地区内で積雪により倒壊した門の修理方法を学ぶため、所有者を含む住民や設計者、施工者を対象に専門家を1人派遣し、現地を確認しながら助言を得た。
 ・戸隠地区の住民を対象に生垣の整備方法を学ぶため、専門家を1人派遣し、現地で講習を行った。
 ・鬼無里地区の住民を対象に、鬼無里神社の屋台の現在の状況について説明するため、専門家を1人派遣し、意見交換を行った。
 その結果、戸隠地区及び鬼無里地区における歴史まちづくりの取り組みに対する住民の理解が深まった。
 ○平成29年度実績:コーディネーター派遣人数 3人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



門の修理について専門家の意見を聴く様子 (H30.3.1)



生垣講習会の様子 (H30.3.26)



鬼無里神社の屋台状況について意見交換する様子 (H30.3.25)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
伝統芸能継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

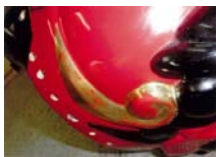
計画に記載している内容 祖先の優れた文化活動の所産であり、長い年月の間に大切に守られてきた郷土の伝統芸能を保存・継承するため、その技術を後世に継承する団体に対し、用具の修理・更新、子供用具の購入、外部講師謝礼、体験教室の開催費用、指導用DVDの作成等に必要経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存団体が行う用具の修理や買い替え等の費用の一部を助成した。
 また、ながの獅子舞フェスティバルを開催し、中央通り(末広町交差点から新田町交差点まで)に7箇所の会場を設け、市内の獅子舞保存会が演舞した。参加団体は稽古の成果を発表する機会に、市民は伝統芸能に関心をもつ機会に、観光客には本市の伝統芸能に触れられる機会になった。
 ○平成29年度実績
 伝統芸能継承事業補助 34団体
 ながの獅子舞フェスティバル演舞 69団体

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



修理前



修理後

用具の修理状況



ながの獅子舞フェスティバルの様子 (H29. 5. 4)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
空き家バンク事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 空き家となっている歴史的建造物などの利活用可能な建物のうち、売却・賃貸を希望している所有者の物件を登録し、空き家情報としてホームページ等を通して広く情報提供を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

空き家バンクへの登録件数が増えており、歴史的建造物の保全につながる可能性が高まっている。
 ○空き家バンク登録件数
 平成28年度実績: 1件、平成29年度実績: 3件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



外観



内観

空き家バンク登録物件(松代町西条)

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
	現在の状況	
善光寺周辺地域道路美装化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成15年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、周囲の景観に調和した舗装整備を行う。
 釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、阿闍梨池通り、御幸坂通り、長野北96号線、長野北236号線

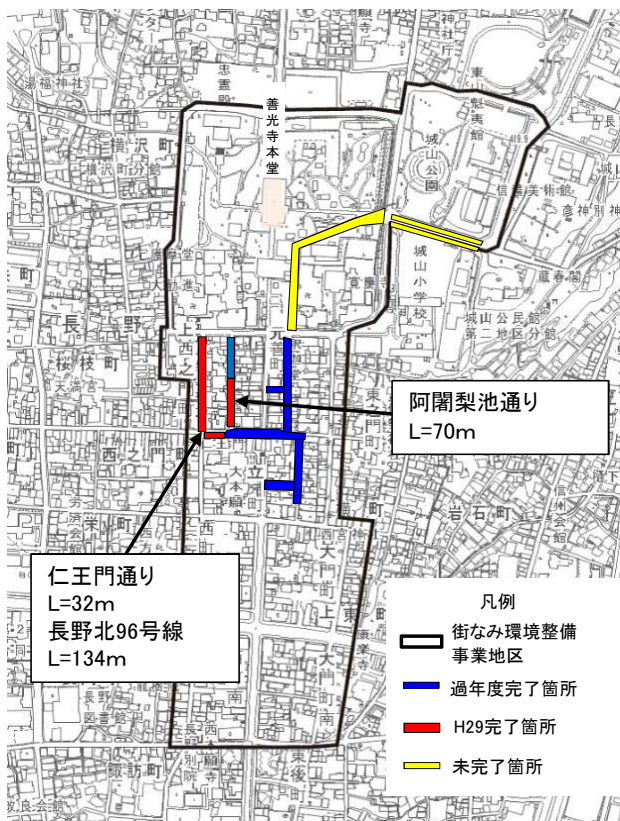
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺周辺道路の美装化工事を実施し、良好な景観形成が図られた。
 ○平成29年度実績
 道路美装化(石畳舗装):阿闍梨池通り L=70m
 道路美装化(石畳風舗装):仁王門通り L=32m、長野北96号線 L=134m
 ※道路美装化総延長(計画期間累計) 実施済みL=725m/計画延長L=1,094m(進捗率66.3%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



道路美装化位置図

阿闍梨池通りの道路美装化の状況



整備前



整備後

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
善光寺周辺地域電線類地中化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、電線類を地中化し、道路からの眺望景観の向上を図る。
釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、阿闍梨池通り、御幸坂通り

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

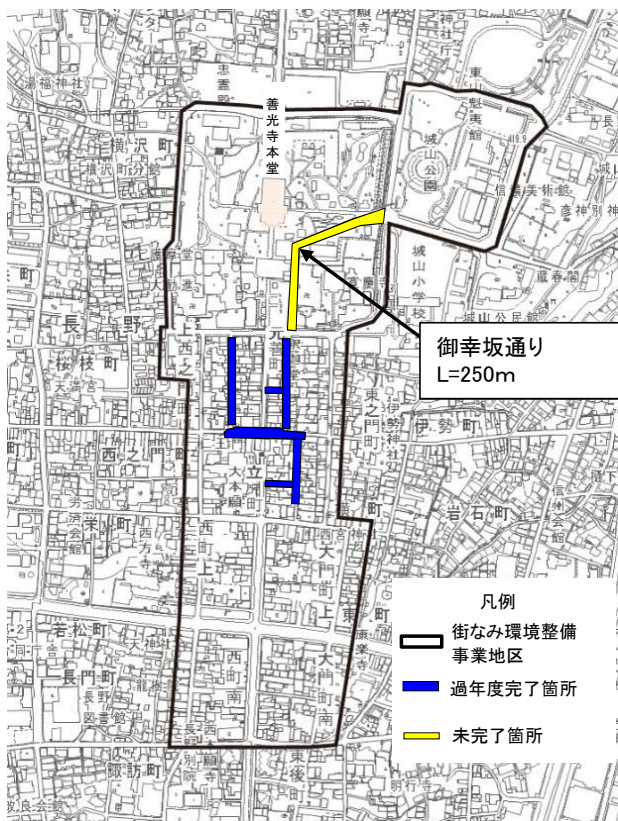
善光寺周辺地域における道路からの眺望景観の向上を図るため、御幸坂通りの電線類地中化実施に向けた電線類地中化の実施設計に着手した。
また、善光寺事務局との協議を3回、沿線地権者との協議を1回実施した。
※電線類地中化総延長(計画期間累計) 実施済みL=540m/計画延長L=790m(進捗率68.4%)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



電線類地中化位置図



御幸坂通りの現況



善光寺事務局との協議(H29.12.6)

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
善光寺経蔵保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～平成29年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 重要文化財善光寺経蔵は、宝暦9年(1759)の建立以降、屋根葺替及び部分修理以外の全面的な保存修理を実施していないため、屋根の劣化とともに建物基部の基壇や石敷の変形と不陸等が顕著な状況となっている。耐震性能並びに耐震上の課題を把握した上で、全面的な構造補強及び保存修理工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺地区の歴史的風致を構成する重要文化財善光寺経蔵について、保存修理に必要な費用の一部を助成した。
 ※事業完了
 ○平成29年度実績
 屋根工事、基礎工事、雑工事(建具工事、塗装工事、金物工事)、報告書作成

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



屋根修理工事状況



修理後

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
善光寺表参道地域交流拠点整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 善光寺表参道に面し、弥栄神社の御祭礼屋台巡行のルートであるため、地元住民や来訪者のための地域交流拠点として、緑豊かな公園や表参道の歴史を伝える施設等を整備する。また、観光客用駐車場不足の状況を踏まえ、観光バスの駐車できる駐車場の設置についても検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

民有地である事業予定地の用地賃借に向けて、地権者との交渉を実施した。

○平成29年度実績

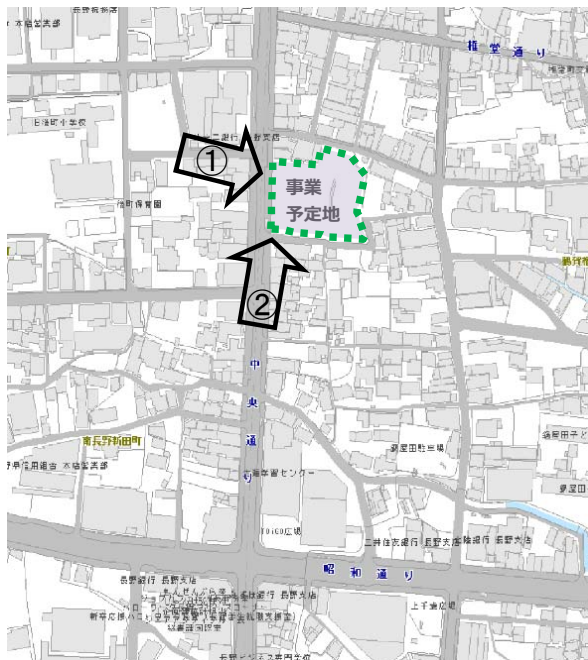
- ・用地交渉回数 11回
- ・移転補償調査及び測量・設計

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



事業予定地の現況①



事業予定地の現況②

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
戸隠地域建造物修理修景助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～平成34年度

支援事業名 国宝重要文化財保存整備費補助金
社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 長野市戸隠伝統的建造物群保存地区を主とする中社・宝光社地区において、宿坊や民家等の所有者が、保存計画に定められた基準に基づき建造物等の修理及び修景を行う場合、または、歴史的建造物の特性を活かした街づくり協定を締結した上で建造物の修景を行う場合に、経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

長野市戸隠伝統的建造物群保存地区において歴史的町並みを構成する建造物の修理・修景事業に対して費用の助成を行った。

なお、事業に際しては、文化庁及び長野市伝統的建造物群保存地区保存審議会の指導・助言を受け、実施した。

○平成29年度事業実績:修理3件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



修理前



修理後

武田家(旧妙光院)主屋



五斎神社拝殿 揚屋工事施工状況



塚田家(白金家)主屋 耐震補強工事施工状況

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
景観重要建造物修理助成事業(戸隠地域)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 景観重要建造物に指定された宿坊極意(中社)と越志旅館(宝光社)について、建造物の外観の修繕及び外観の修繕に伴う構造部の修繕に要する経費の一部について助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宿坊極意及び越志旅館の茅葺屋根の部分修理費の一部を助成し、戸隠地区における歴史的建造物の保全を図った。また、宿坊極意の平成30年度の修理に向けて、現状変更申請し許可を得た。※越志旅館の修理は今年度で完了
 ○平成29年度実績:景観重要建造物修理助成 実績2件/当初計画2件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



修理前



修理後

宿坊極意(中社)



修理前



修理後

越志旅館(宝光社)

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 弥栄神社の御祭礼で曳き回される屋台の巡行を支援するため、各町で保管している屋台や祭礼用具の組立及び解体、補修等に対して補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

弥栄神社の御祭礼において、屋台巡行を行う屋台や一定の場所に展示する置き屋台の組立て・解体に要する費用及び屋台の補修費用の一部を助成した。

○平成29年度実績

祭礼屋台事業補助金7件(巡行屋台の組立て及び解体4件、置き屋台の組立て及び解体2件、屋台の補修1件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



屋台巡行状況

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
戸隠茅場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 戸隠中社・宝光社地区の歴史的町並みを構成する茅葺き屋根の建物を、今後も適切に維持保全していくため、中社地区内にある戸隠スキー場中社ゲレンデを茅場として整備する。なお、このゲレンデの一面には、すでに茅材に適した大茅が自生していることから、毎年、定期的に茅刈りを行うことにより、良質な茅場として整備できることが十分に見込める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

11月6日、7日の二日間、戸隠スキー場中社ゲレンデにおいて、戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会により茅刈りが行われ、地元住民や学生が参加し、伝統技術の継承が図られた。
 延べ参加者：50人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

戸隠スキー場中社ゲレンデ茅刈り
 H29.11.6:参加者 25人
 H29.11.7:参加者 25人



茅刈りの様子



刈り取った茅

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
戸隠伝統的建造物群保存地区防災計画策定調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～平成30年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 戸隠伝統的建造物群保存地区内において、住民の生命及び財産を災害から保護し、歴史的な町並みを活かしたまちづくりを推進するため、保存地区に相応しい防災計画を策定するための調査を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存地区内の消防設備の現状調査を実施するとともに、伝統的建造物の建物調査及び耐震性能調査を行った。また、地域住民を対象として易操作性の小口径消火ホースを使用したワークショップを開催し、防災意識の向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



防災専門家会議による現状の消防設備の確認



建造物の耐震性能調査(茅葺屋根の重量計測)



易操作性の小口径消火ホースを使った住民ワークショップ

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
戸隠地域耐震性貯水槽整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 地域の景観の核となる景観重要建造物や、歴史的風致を形成する建造物が多く残る戸隠中社・宝光社地区の防災対策として、耐震性貯水槽(防火水槽)を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

戸隠宝光社地区に耐震性貯水槽(防火水槽)を整備し、防災体制を強化した。
 また、工事途中に地区住民を対象に現場見学会を開催し、防災意識の向上が図られた。(評価軸④-5)
 ○平成29年度実績
 耐震性貯水槽(防火水槽)40tを1基設置

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



整備前



整備後



基礎コンクリート打設状況

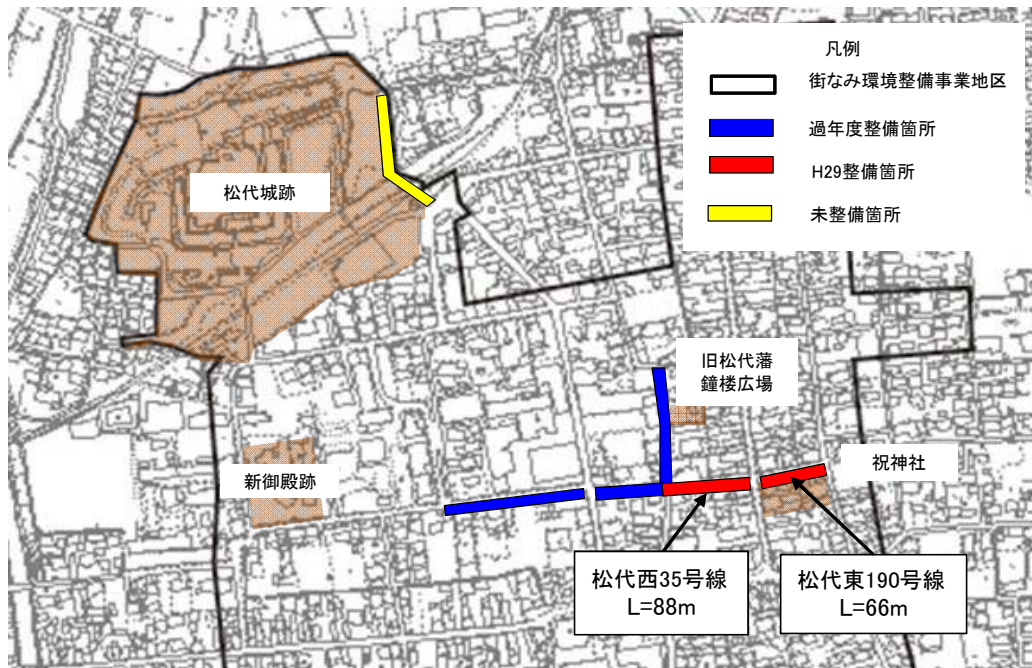


耐震性貯水槽設置状況

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
松代地域道路美装化事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成16年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	旧松代藩の城下町である松代の中心市街地は、松代城跡、新御殿跡、旧文武学校、旧樋口家住宅など、数多くの文化財が集積するとともに、善光寺御開帳における回向柱の奉納や天王祭における神輿巡行の舞台でもある。本事業では、城下町にふさわしい歴史的景観とするために、周辺の歴史的建造物に調和した歩車道の美装化を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
松代城下町エリアの道路美装化工事(石畳風舗装)を実施し、良好な景観形成が図られた。 ○平成29年度実績 道路美装化(石畳風舗装):松代西35号線 L=88m、松代東190号線 L=66m ※道路美装化工事総延長(計画期間累計) 実施済みL=484m/計画延長L=600m(進捗率80.7%)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



道路美装化位置図



整備前



整備後

松代西35号線の道路美装化の状況

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
伝統環境保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和59年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 江戸時代の良好な武家屋敷地としての地割りや建物が残るとともに、松代特有の水路である庭園や泉水がとりわけ多く残っている、表柴町、代官町、馬場町、竹山町の四町の伝統環境を保存し、後世に受け継ぐため、伝統環境保存区域内で行われる建造物や庭園等の修理・修景に対して指導・助成等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観形成に寄与している江戸時代の「泉水路」の改修工事及び庭園の整備工事に対する助成を行った。修理に当たっては長野市伝統環境保存審議会の助言・指導を受け、実施した。
○平成29年度実績:修理・修景助成3件/当初計画3件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



審議委員による現地視察(高井家泉水路)



審議委員による現地視察(宮澤家泉水路)



審議委員による現地視察(長峯家庭園)



審議委員による審議

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
旧横田家住宅保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～平成32年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 江戸時代の中級武家屋敷である旧横田家住宅(主屋、表門、隠居屋、土蔵2棟)は、前回の解体修理工事から20年以上経過し、茅葺屋根や土壁、木部等に劣化が生じていることから、保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧松代城下町における歴史的景観の保全を図るため、地域を代表する文化財の一つである旧横田家の保存修理に向けて、保存整備事業計画策定を実施した。
 ○平成29年度実績 保存整備事業計画策定

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



旧横田家住宅(表門)



旧横田家住宅(主屋)



旧横田家住宅(隠居屋)



旧横田家住宅(主屋 北面屋根)

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
旧文武学校保存整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成31年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容
 松代藩の藩校として、安政2年(1855)に開校した史跡旧文武学校は、松代城下町の歴史を伝える重要拠点であるとともに、善光寺御開帳では、回向柱が安置される場所でもある。経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な利活用を促進するための環境整備を行なう。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

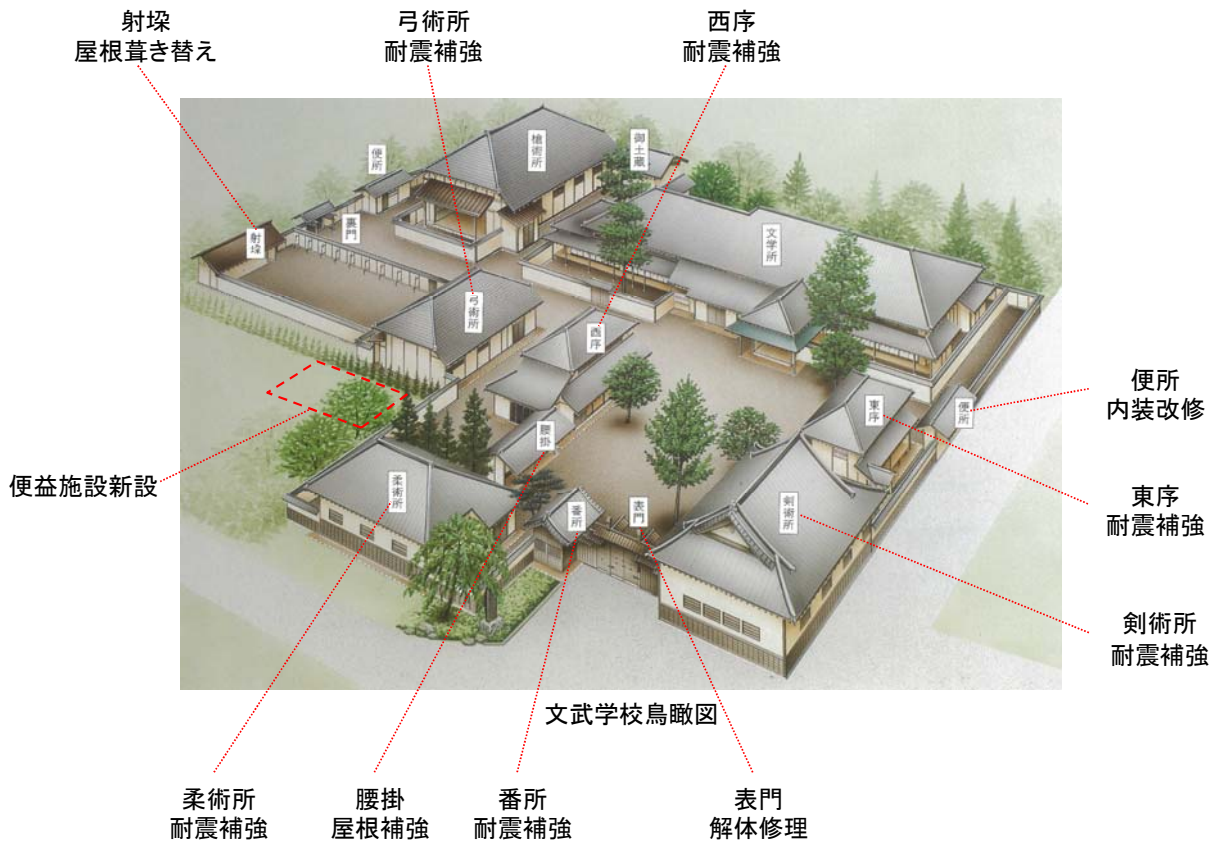
旧松代城下町における歴史的景観の保全を図るため、文学所・文庫蔵・槍術所以外の建造物について、耐震診断に基づく保存整備工事を開始した。

○平成29年度実績 旧文武学校弓術所外保存整備工事の開始: 弓術所、柔術所、剣術所、東序、西序等

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
松代町文化財保存活用推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 多くの文化財施設が集積する松代地区において、文化財施設を活用したまちづくりを促進するため、文化財ボランティアの活動や市民ワークショップの開催等を推進する。また、松代地区における文化財施設の中核施設である真田宝物館が、施設の老朽化に加え、展示施設の調湿機能の不備、収蔵庫不足等の諸問題が生じているため、真田宝物館の設置場所も含めた、松代地区全体の文化財を活用するための調査研究を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

真田宝物館や真田邸など文化財施設の積極的な活用により、ボランティアガイドの活動内容が充実した。また、真田宝物館において、ガイドする側の目線に立ち、ガイド推薦の収蔵品を集め展示した。
 ○平成29年度実績
 ボランティアガイド人数 5,812人に対応(H29.12月までの人数)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

長野市民新聞 H29.12.23
 * 転載許可

ガイドする側の目線に立ち、ガイド推薦の収蔵品を集め展示した。

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
旧松代駅舎保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線松代駅の駅舎を、来訪者に対する案内拠点として活用するため、内部改修と外観修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡松代城跡に隣接しているため、松代城跡保存整備及び周辺事業の庁内調整会議を1回実施した。また、旧駅舎の保存・活用に関する地元との協議を2回を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

松代城跡保存整備事業や観光振興策との整合を図りながら、旧駅舎の具体的な保存・活用方針を決めるため、事業期間を平成34年度まで延伸する。

状況を示す写真や資料等



地元との協議(H29.11.8)

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
松代城跡東側駐車場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 松代中心市街地への自動車の流入を防ぐため、旧長野電鉄屋代線の敷地のうち、史跡松代城跡東側の一部にアクセス駐車場を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

暫定的に観光用駐車場として活用し、中心市街地への自動車流入の抑制を図った。また、地元有志によりイベント会場として活用された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

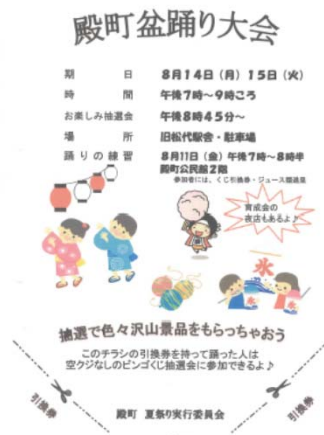
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

アクセス駐車場の整備範囲、整備時期について、史跡松代城跡保存整備事業との整合を図るため、事業期間を平成34年度まで延伸する。

状況を示す写真や資料等



観光用駐車場としての利用状況



イベント会場としての利用状況

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 北国街道松代道周辺の文化財や歴史的建造物等をゆったりと周遊できる道を整備するため、平成24年(2012)3月に廃線となった旧長野電鉄屋代線の線路敷を活用し、沿線に点在する歴史的遺産を巡る自転車道ないし遊歩道としての整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道路構造、整備区間に係る地元協議等を実施した。

○平成29年度実績
自転車道・遊歩道建設工事 L=0.3km

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない 十分な予算を確保し、継続的、計画的に、工事の進捗を図る。

状況を示す写真や資料等



整備前



整備後

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
史跡大室古墳群保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 平成10年(1998)から平成25年(2013)にかけて実施しているエントランスゾーン・施設整備ゾーンに引き続き、積石塚古墳・合掌形石室が密集して分布する遺構復元整備ゾーン(面積:約42,000㎡、古墳数60基)の古墳を修理して保存・継承するとともに、古墳周辺の自然環境を保全し、また、園路や説明板等の便益設備を整えて見学者の利便性を高めるなど、学校教育や生涯学習の場として活用できるように整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

整備対象古墳3基(154・173・176号墳)の遺構確認調査、園路近接古墳6基(175・181・182・184・190・191号墳)の範囲確認調査を進め、大室古墳群の文化財的価値の向上を図った。また、整備事業の基幹路となる整備作業道設置工事に着手するなど、整備事業を進めた。このほか、大室古墳群の中心的ゾーンとして整備途上ではあるが草刈等の環境維持作業を実施し、遠足や社会見学、生涯学習の場として積極的に公開を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



環境維持作業(刈払機による草刈作業)



環境維持作業(人手による古墳清掃作業)



小学校の社会見学(186号墳)



整備計画等に関する現地打合せ

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
旧信濃川田駅保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 川田宿には、地域の歴史や文化を伝えるための施設が不足しているとともに、大通りから離れたところに歴史的まちなみなが形成されているため、歴史的まちなみへの案内が不足している。本事業は、川田における歴史的建造物の一つである大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線信濃川田駅の駅舎を、川田宿の歴史を伝える資料館及び来訪者に対する案内拠点として利活用するため、内部改修と外観修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域の歴史的建造物の一つである旧駅舎の活用について、地元と協議を6回行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

北国街道松代道周辺文化財等周遊道路と合わせて旧駅舎を利活用する必要があるため、地元との協議を行いながら活用計画の策定を進めるため、事業期間を平成34年度まで延伸する。

状況を示す写真や資料等



旧駅舎とその周辺の活用についての地元との協議

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
松代歴史文化の発信・誘客事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 松代の歴史文化を発信し誘客に繋げようとして「NPO 法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」が実施している、まち歩き推進事業、交流ネットワーク事業、まち歩きセンター運営事業に対して助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代地区全体を歴史的遺産と見立て、地域資源の掘り起こし、磨き上げ、情報発信を行っている「NPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」の活動補助を行った。

散策ツールの製作、まち歩きガイドの養成、まち歩きセンター運営、まちづくりシンポジウムや勉強会の開催等のまち歩き観光の推進とPRIに寄与した。

○H29年度活動実績

まち歩きツアー 16回開催 参加者合計 46名 視察受入 17回開催 参加者合計 562名
松代学講座 6回実施 参加者合計 230名 松代藩鷹狩り(H29.11.26) 参加者 400名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



まち歩きセンター外観



まち歩き・おもてなし勉強会の開催



松代城跡の鷹狩の実演会

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
県宝大英寺本堂保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 県補助金、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松代の歴史的風致を形成する県宝大英寺本堂および表門について、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理工事に要する経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域における歴史的景観の保全を図るため、平成28年度に引き続き、県宝大英寺本堂(大蓮院霊屋)および表門の修理に必要な費用の一部を助成した。

○平成29年度実績

曳屋、基礎工事、曳屋戻し、屋根工事

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



修理前



曳家基礎工事状況

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	川田宿PR活用事業	
	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 川田宿の歴史的町並みや伝統文化を川田宿を訪れる観光客に対して広くPRするため、川田宿ガイドの会が主体となり、案内ガイドの実施や町歩きガイドマップの作成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域に指定されたことを受けて設立された「川田宿ガイドの会」会員を中心に、川田宿見学者への案内ガイド等を実施し、街道宿場としての歴史を活かしたまちづくり及びPRに取り組んだ。

○平成29年度実績

- ・月例学習会(月第2火曜日) 会の運営や新たな資料収集のほか、PR方法のなどについて検討した。
- ・ガイド案内の実施 5回 見学者93人に対応した。
- ・現地研修会の開催 ・小野宿、塩尻宿、郷原宿、洗馬宿視察 本陣や旅籠などの歴史的建造物の公開・活用方法などについて意見交換を行った。
 ・川田塚本・北島家見学 地域資料の調査聞き取りを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



案内ガイドの様子 下高井退職教職員の会
(H29.10.26:参加者20名)



案内ガイドの様子 保科ウォーキングの会
(H29.11.22:参加者20名)



現地研修会の様子 小野宿・塩尻宿・郷原宿・洗馬宿(H29.6.11:参加者8名)



現地研修会の様子 川田塚本・北島家
(H30.1.21:参加者7名)

評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
史跡松代城跡保存整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～平成34年度		
支援事業名	市単独事業、国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	史跡松代城跡について、城郭としての本来の形状を取り戻し、松代地区の中核拠点として利活用を図るため、旧城郭域の公有地化と保存整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
松代地区の歴史的風致を構成する国史跡松代城跡について、地元・関係機関との協議や専門家会議を行い、保存活用計画等の計画を策定した。また、発掘調査及び現地見学会を開催し、城郭の価値や魅力に関する情報発信に努めた。 ○平成29年度実績 ・保存活用計画、整備基本計画策定 ・追加指定範囲の用地買収(13筆、6,290㎡)完了(H28より継続) ・史跡松代城跡整備専門家会議(3回開催)、松代地区との調整会議を開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



第3回整備専門家会議(H29.7.21)



発掘調査現地説明会(H29.7.29)

松代地区との調整会議(H29.11.8)

評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
県宝長国寺開山堂保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～平成29年度

支援事業名 県指定等文化財補助事業

計画に記載している内容 県宝長国寺開山堂(第三代松代藩主真田幸道霊屋)の屋根に著しい劣化がみられることから修理工事を実施し、この経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域の歴史的景観の保全を図るため、重要文化財真田信之霊屋、史跡松代藩主真田家墓所とともに真田家霊屋・墓所区域を構成する、長国寺開山堂(第三代松代藩主真田幸道の霊屋)の屋根修理に必要な費用の一部を助成した。

※事業完了

○平成29年度実績

屋根工事、内陣壁修理工事

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

修理前



修理後



評価軸③-30

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
県宝林正寺本堂保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～平成30年度

支援事業名 県指定等文化財補助金

計画に記載している内容 老朽化が著しい県宝林正寺本堂及び表門について、保存修理に要する経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域の歴史的景観の保全を図るため、真田家ゆかりの霊屋・墓所区域を構成する、林正寺本堂(第二代松代藩主真田信政の霊屋)および表門の修理に必要な費用の一部を助成した。

○平成29年度実績

縁・本堂裏壁・内陣の復元、建具工事

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



修理前



建具修理状況



評価軸③-31
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
大室古墳群アクセス道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
大室古墳群の保存活動は、史跡整備されたエントランスゾーンやガイダンス施設「大室古墳館」を拠点に、周辺の歴史文化資産を含めた保存を図っていく局面を迎えている。こうした新たな保存活動及び利活用の促進を図る上で、国道403号線から国史跡大室古墳群までのアクセス道路整備により誰もが訪れやすいようにするとともに、周辺の歴史文化資産を活かす道路として整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

概略設計による基本ルート案をもとに、大室古墳群アクセス道路整備対策委員会(地元)と協議を行うとともに、地権者等との意見交換のための懇話会を開催し、事業着手に向けた準備作業を進めた。

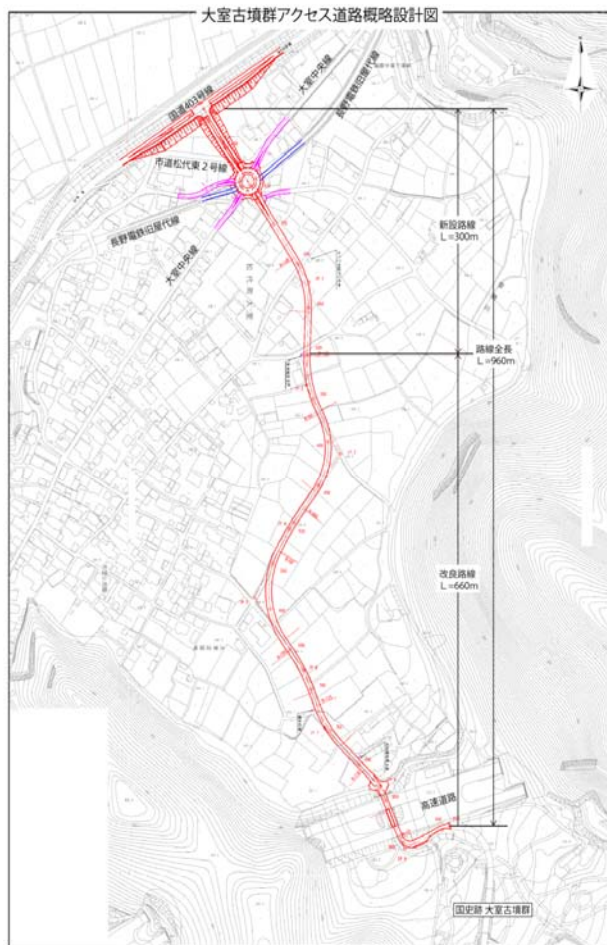
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

事業着手にあたり必要となる地権者等の事前同意の確認に期間を要したため、29年度中に実施予定であった地質調査を次年度以降に順延する。

状況を示す写真や資料等



大室古墳群アクセス道路概略設計図

評価軸③-32

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成34年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市有形文化財(工芸品)である「彫工北村喜代松」制作の神楽・屋台を保存するとともに、その木地を生かした「一木彫り」による透かし彫りの龍や唐獅子、牡丹など優れた技術の情報発信を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
5月の鬼無里神社祭礼において屋台が出され、北村喜代松の彫刻を多くの人たちに見てもらうことができた。HP内の屋台コーナーのコンテンツの充実を図った。 H28年度の外部評価を受け、企画展「明治・大正時代の鬼無里商家の広告～引札からみる鬼無里の賑わい～」を行い、屋台を残してきた鬼無里地区の歴史についての情報発信を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



鬼無里ふるさと資料館ホームページ

評価軸③-33

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
鬼無里地域の伝統的な祭礼等PR事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 白髯神社の祭礼、鬼無里神社の祭礼、諏訪神社の御柱祭をはじめとした、鬼無里地域に伝わる伝統的な祭礼について、パンフレット作成やインターネットを活用した情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ホームページによる情報発信
 鬼無里観光振興会により、鬼無里神社の祭礼(5月3日)、白髯神社の祭礼(5月3日、9月10日)開催における情報発信を行い、地元住民をはじめ多くの参加者で賑わった。
 また、年間イベントカレンダーに祭礼について掲載し、情報発信を行った。

○体験型ツアーの実施
 (公財)ながの観光コンベンションビューローにより、平成25年度から実施している地域の文化財等を活用した体験型ツアーが今年度も企画・実施され、市内外から多くの参加者が集まった。
 ・戸隠・鬼無里の歴史と文化を巡る旅(鬼無里神社・松巖寺参拝・鬼無里ふるさと資料館見学等)(7月25～30日)
 参加者延べ23名
 ・ダムを巡る旅(裾花ダム・鬼無里ふるさと資料館見学等)(10月19～24日)
 参加者延べ105名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



多くの人で賑わう鬼無里神社 春の例大祭(H29.5.3)



戸隠・鬼無里の歴史と文化を学ぶ旅



ダムを巡る旅

体験参加型ツアーのリーフレット

評価軸③-34
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
松巖寺経蔵保存修理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～平成29年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 寛政7年(1795)の建立とされる松巖寺経蔵(市指定有形文化財)は、中に六角輪蔵があり、数多くの経典が収められている。経年による劣化や平成26年11月に発生した長野県神城断層地震による被災で破損した経蔵の保存修理に対して費用の一部を助成し、その文化的価値を保全し、同時に観光拠点・生涯学習の場としての利活用を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鬼無里地区における歴史的景観の保全を図るため、地域を代表する文化財の一つである松巖寺経蔵の修理経費の一部に助成した。

※事業完了

○平成29年度実績

外内壁の仕上げ、土間叩き、防火扉の復元、自動火災報知機の設置工事を実施

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



修理前



修理後

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理(活用)計画等)について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財は指定・未指定に関わらず、長野市の歴史と文化を理解する上で不可欠なものであり、幅広く情報を収集し、地域固有の財産として未来に受け継いでいくための取り組みを進める必要がある。具体的には、文化財の調査を行い、価値が認められたものについては、市の指定・国の登録制度等の活用を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○松代地区において、住民自治協議会による登録文化財推進のための建物調査を実施した。
 ○地元住民と関係各課による城下町の庭園群及び松代城の水堀保全に必要な水路網の現地見学を実施した。
 ○松代地区の松代城跡、旧文武学校について、それぞれ史跡ごとの専門家会議等で検討を進め、「保存活用計画」を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



松代城下町水路網の現地確認(H29.12.22)



松代城跡保存活用計画の検討
 (松代城跡整備専門家会議 H29.12.1)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の保存整備(修理、修景、復元等)について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 国指定等文化財の現状変更を伴う大規模な修理や整備等を実施する場合には、文化財保護法及び関係法令を遵守し、適切な手続きをとるとともに、文化庁や長野県教育委員会との連携のもと、整備委員会を設置して、専門の有識者より指導助言を得ながら実施する。県・市指定文化財については、地方文化財保護審議会の専門委員より適宜指導助言を得ながら修理等を実施する。長野市の歴史的風致を形成する歴史的風致形成建造物に指定するものについては、保存・活用のための修理に必要な支援を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定文化財の建造物・記念物等について計画的に保存修理を実施することにより、適切な保存活用を図られた。

- 指定文化財の保存整備事業 3件
 (国指定:旧文武学校保存整備、松代城跡保存整備、大室古墳群保存整備)
- 指定文化財の保存修理助成事業 6件
 (国指定:善光寺経蔵保存修理工事助成、葛山落合神社本殿保存修理工事助成)
 (県指定:大英寺保存修理工事助成、林正寺保存修理工事助成、長国寺開山堂修理工事助成)
 (市指定:松厳寺経蔵保存修理工事助成)
- 重要伝統的建造物群保存地区(戸隠地区)の保存修理助成事業 3件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



葛山落合神社の保存修理状況



旧文武学校の保存修理状況

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の防災に関する取り組みについて		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

定期的に文化財防火パトロールを実施し、所有者・管理者と消防局による防火点検や、地元消防団の放水訓練などを行い、日常的に防災意識の高揚と火災被害の軽減を図る。さらに、防犯対策として、文化財所有者への防犯意識の徹底を図る。
 文化財の耐震診断と耐震補強工事や、消火設備、避雷針設備等の防災設備設置工事等の推進を図るとともに、日常的な維持管理や所有者への注意喚起等により、美術品等の防犯対策を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財パトロールの実施
 - ・国・県指定文化財:年2回(パトロール員3名)
 - ・市指定文化財:年1回(パトロール員29名) ※文化財保護協会と連携
- 消防訓練の実施
 - ・善光寺・忠恩寺・蓮台寺など(文化財防火デー、H30.1.26)
- 所有者管理者への防災対策の注意喚起
 - ・所有者管理者研修会の開催(H29.11.9)・・・善光寺の落書きや、近隣市の文化財火災を受け、注意喚起の通知
- 戸隠重要伝統的建造物群保存地区の防災計画策定のための調査実施

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等



文化財パトロールの様子



所有者管理者研修会(H29.11.9)



戸隠伝統的建造物群保存地区防災対策専門家会議(H29.8.18)操作性の小口径消火ホースを使った住民ワークショップ(H29.11.2 参加者50名)



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況

文化財の周辺環境の整備について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

歴史的風致の維持及び向上を図るために実施する電線類地中化・道路美化事業ないし水路等の整備事業、文化財の管理活用を目的とする便益施設等の設置においても文化財及びその周辺の歴史的景観との調和を図る。

〈善光寺戸隠地区〉
 ・道路や河川などの公共施設については、電線類地中化や道路の美化化によって、歴史的建造物と一体となった良好な整備を行っていく。

〈松代・若穂川田地区〉
 ・電線類地中化や道路の美化化等を順次進めていく。

〈鬼無里地区〉
 ・神社や寺院、民家等には古い建造物が多く残され、これまでに大規模開発も行われていないため、文化財の周辺環境も保全されているが、なお一層の地域住民の保全意識向上を図り、環境の保全に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺周辺地区の電線類地中化と道路美化(評価軸③-5、③-6)及び松代地区の道路美化(評価軸③-15)を実施し、文化財及びその周辺の歴史的景観との調和が図られた。
 また、鬼無里地区内の文化財を活用した体験型ツアー(評価軸③-33)を開催し、歴史的景観に関する住民意識の向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

善光寺周辺地区
阿闍梨池通りの道路美化



整備前



整備後

松代地区
松代西35号線の道路美化



整備前



整備後



鬼無里地区体験参加型
ツアーリーフレット

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の保存及び活用の普及、啓発について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の非公開部分を対象とする期間限定の特別公開や、修理工事中の現地説明会、出前講座等を実施し、分かりやすい文化財情報の発信に努める。市内の各種団体も、住民と連携して文化財めぐりや講演会等を行っており、今後もこうした取り組みを続けていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

戸隠地区では、易操作性の小口径消火ホースを使用したワークショップの開催(評価軸③-13)や、宝光社地区で耐震性貯水槽設置工事の現場見学会(評価軸③-14)が行われ、歴史的建造物の防災対策の重要性が共有された。

松代地区では、「NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会」などの各種団体主催によるまち歩き・見学会、勉強会などが開催された。(評価軸③-25)

鬼無里地区では、鬼無里神社祭礼時に屋台巡行(評価軸③-32)や、(公財)ながの観光コンベンションビューロー主催の鬼無里ふるさと資料館見学を組み込んだ体験型ツアー(評価軸③-33)が実施された。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



易操作性の小口径消火ホースを使った住民ワークショップ
(H29.11.2 参加者50名)



耐震性貯水槽設置工事の現場見学会
(H29.11.17 参加者9名)

宝珠に夕陽が沈む光景を見る会

～松代西条・西楽寺・清水寺～

冬至の日の午後、西楽寺境内にある真田信重公の御霊屋(重要文化財)では、屋根の宝珠の真上に日が沈み、宝珠が光り輝くという年に1度の神々しい光景が見られます。
また、当日は、阿弥陀如来様に寄り添う黄金の飛竜や鳳凰、天井に舞う飛天、朱塗壁に舞う遊種顔面(かりようびんが)など、当時の大名が想う極楽浄土の御霊屋内部を拝観します。
さらに、今年は、同じく重要文化財の千手観音や聖観音、地藏菩薩像等が安置されている清水寺も訪問し、これらの仏像も拝観します。

日時 2017年12月22日(金)

受付開始 12:30

見学 13:00~14:30

太陽が沈む時刻 14:20過ぎ



集合場所 松代町西条
地震観測所入口トイレ横(駐車場)

持ち物等 カイロ等、お賽銭用小銭
※暖かい服装でお越し下さい

参加費 700円(保険料・拝観料含む)

申込不要 直接集合場所へお越し下さい



主催 NPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会
共催 松代観光推進機構
お問合せ NPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会事務局
長野市松代町松代(伊勢町)577 松代まち歩きセンター内
TEL 026-278-1277

まち歩きツアー「宝珠に夕陽が沈む光景を見る会」
開催案内チラシ

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	平成29年度
次代の城山公園の在り方は	平成29年4月19日	信濃毎日新聞
善光寺の宿坊高評価 全国1位も	平成29年4月25日	信濃毎日新聞
鬼無里神社であす屋台巡行	平成29年5月2日	長野市民新聞
長野の獅子舞ずらり「ながの獅子舞フェスティバル」	平成29年5月8日	長野市民新聞
松代の武家文化発信 3団体が連携横浜で「嗜む会」初開催	平成29年5月25日	信濃毎日新聞
佐久間象山の資料市に寄贈 書画や書状175点	平成29年5月27日	長野市民新聞
戸隠奥社参道車いすで笑顔 ユニバーサルツーリズム普及へ体験会	平成29年5月30日	信濃毎日新聞
信濃美術館設計者決まる	平成29年6月6日	信濃毎日新聞
戸隠古道大ウォーク7年ぶり開催へ	平成29年6月14日	信濃毎日新聞
ふるさと納税返礼品 松代城「一国城主」長野市が募集開始	平成29年6月24日	週刊長野
わかほ塾松代との連携考える	平成29年6月24日	長野市民新聞
ながの獅子舞フェスティバル写真コンテスト	平成29年6月29日	長野市民新聞
屋台や獅子舞はなやかに「ながの祇園際」にぎわい	平成29年7月10日	信濃毎日新聞
松代城跡の価値学ぼう 保存整備へ自治協講演会	平成29年7月19日	信濃毎日新聞
戸隠の団体市景観賞に選定される	平成29年7月25日	長野市民新聞
発掘信州の城 松代城跡「三日月堀」護岸の遺構確認	平成29年7月29日	長野市民新聞
戸隠伝建で新制度 改修の3件に市助成	平成29年8月5日	長野市民新聞
松代真田邸夜の庭園に彩り	平成29年8月16日	信濃毎日新聞
鬼無里白髯神社が64年ぶり拝殿の屋根葺き替え	平成29年8月24日	長野市民新聞
中央通り長野市に移管へ	平成29年8月24日	信濃毎日新聞
松代紬の再興に一丸 地元有志技術磨く	平成29年8月24日	長野市民新聞
松代のまちづくり評価 NPOに自治体学会賞	平成29年9月2日	信濃毎日新聞
経蔵の保存修理完了 善光寺9年ぶり拝観再開	平成29年9月14日	長野市民新聞
善光寺ゆかりの寺全国各地から 善光寺サミット	平成29年10月4日	信濃毎日新聞
練り歩く十万石行列 松代で真田十万石祭り	平成29年10月9日	信濃毎日新聞
松代小児童総合学習で観光客をおもてなし	平成29年10月14日	長野市民新聞
長野電鉄旧屋代線信濃川田駅の駅舎 活用も見据え大掃除	平成29年11月2日	長野市民新聞
伝統的な建物群火災から守る 重伝建選定戸隠の2地区で	平成29年11月3日	信濃毎日新聞
戸隠の景観彩るカヤ刈り	平成29年11月8日	信濃毎日新聞
松代景観賞が20回目	平成29年11月9日	長野市民新聞
戸隠神社の杉3本折れる	平成29年11月10日	信濃毎日新聞
善光寺表参道外国語で案内 来春からガイド研修	平成29年11月23日	長野市民新聞
松代城跡で鷹匠伝統の技披露	平成29年11月30日	長野市民新聞
戸隠の竹細工腕前披露 職人・初心者・住民集う「技術講習会」	平成29年12月6日	信濃毎日新聞
松代城の「城主証」人気 ふるさと納税寄付メニュー	平成29年12月6日	信濃毎日新聞
2018県都長野で第41回全国町並みゼミ長野松代・善光寺大会	平成30年1月1日	週刊長野
恩田木工生誕300年を記念 まち歩きマップを作成	平成30年1月6日	長野市民新聞
須磨子没後100年へ 松代町で取り組み	平成30年1月6日	長野市民新聞

今年度から新たに開催された「ながの獅子舞フェスティバル」や、国史跡「松代城跡第2期整備計画」に基づく事業、戸隠地区の重要伝統的建造物群保存地区の保存等に関する記事が度々掲載されるなど、「歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事業」の取組みに関する記事も多く掲載され、長野市の歴史的風致の維持及び向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



長野市民新聞 H29.5.9 記事
* 転載許可



長野市民新聞 H29.7.11 記事
* 転載許可



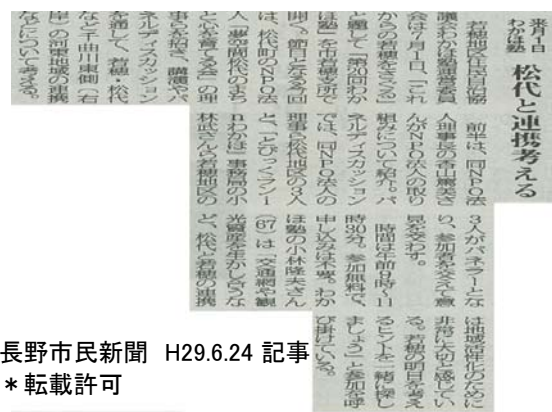
長野市民新聞 H29.9.14 記事
* 転載許可



長野市民新聞 H29.8.31 記事
* 転載許可



長野市民新聞 H29.7.25 記事
* 転載許可



長野市民新聞 H29.6.24 記事
* 転載許可

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成29年度

項目

善光寺仁王門前の歩行者通行量の増加

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成25年度から平成28年度の善光寺仁王門前歩行者通行量調査(毎年10月第3日曜日実施)では、歩行者通行量が増加傾向にある。善光寺周辺地域道路美装化事業(評価軸③-5)などの実施により、仲見世及び宿坊群で構成される善光寺門前の歩行者通行量が向上したと考えられるが、今年度調査では、前年に比べて減少している。これは、調査日が雨天であったことが影響していると考えられる。

○平成29年度実績

善光寺仁王門前の歩行者通行量調査(毎年10月第3日曜日実施) 歩行者人数:24,355人

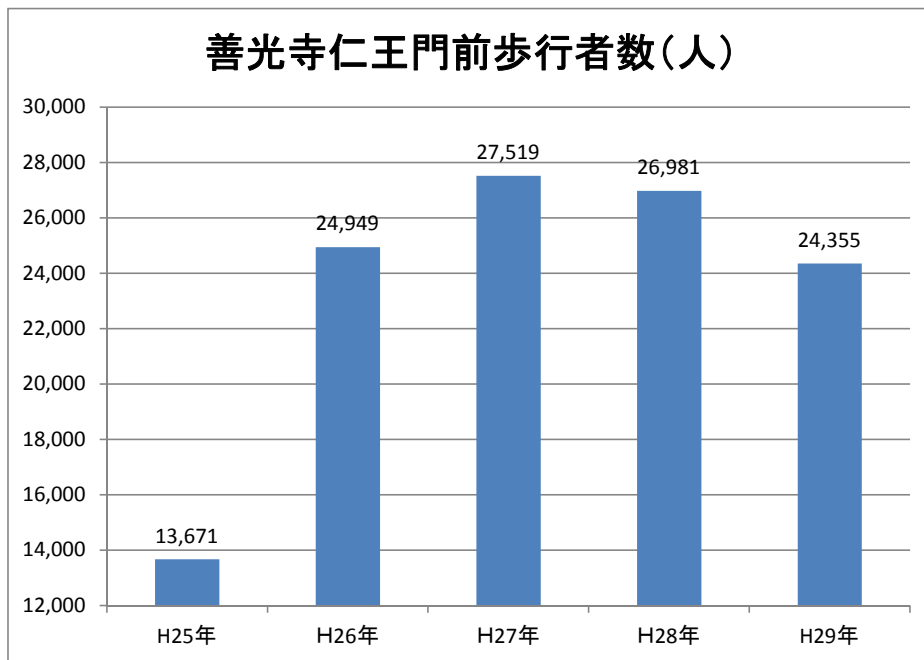
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

善光寺仁王門前歩行者通行量調査(H25~H29)



評価対象年度 平成29年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称:長野市歴史的風致維持向上協議会(法定協議会)

会議等の開催日時:平成30年2月9日(金) 10:00～

(コメントの概要)

- 1 評価軸3の「伝統芸能継承事業」の、「ながの獅子舞フェスティバル」について、参加団体数は市の保存団体全体の1/3以下であるが、参加応募できない団体こそ存続の危機に瀕している。こうした団体をサポートする必要がある。
- 2 評価軸3の「史跡大室古墳群保存活用事業」に関し、現場は樹木が密に生えており、古墳の保存に支障となると考えられる。
- 3 松代地区の「伝統環境保存区域」の伝統的建築物や泉水路が滅失する事例に歯止めがかからない。地元と行政が一体となって進める体制づくりをお願いしたい。



(今後の対応方針)

- 1 より多くの保存団体が参加できるよう配慮する。保存団体の把握のため、住民自治協議会から情報を得る。
- 2 古墳の保存の観点から、樹木の成長に応じ定期的に対応する。
- 3 地元と行政が協力して進めていく体制を整えたい。